

宇賀社葛山弁財天



第2回川中島合戦の対陣の際、上杉方で築いた葛山城が武田軍の急襲によって、弘治3年(1557)に落城しました。

落城後のある夜、葛山城主であった落合家の浪人、吉沢弥左門という侍が城跡に登ると、城主の守り本尊とされていた弁財天の尊像が光物とともに現れました。このご尊像を浪人が持ち帰り、茂菅村に安置して以来、長きに渡り当地区の守護神として奉拝されています。

茂菅公民館の横にある宇賀社葛山弁財天堂の中には、葛山弁財天の他に、不動明王・大黒天・毘沙門天・十五童子の五祭神が祀られており、毎年5月には、茂菅区主催の祭礼が行われています。





獅子殿稻荷神社 シダレザクラ

長野市西部の桜枝町・花咲町・西長野町などと隣接し、善光寺七池の一つとして由来のある「狐池」地区には、獅子殿稻荷社という、古くから住民に親しまれている神社があります。

毎年4月になると、神社の境内には見事なシダレザクラが開花し、訪れる人に感動を与えています。

このシダレザクラは、エドヒガンザクラの変種の桜で、枝が長く、その名のとおりにいただれています。別名イトザクラとも呼ばれます。

桜が満開の時期になると、町内のみなさんや外から訪れる人々のお花見でにぎわいます。



駒形嶽駒弓神社神楽



平成19年9月22日、上松2丁目の駒形嶽駒弓神社若宮で秋季祭典宵祭が盛大に行われました。駒形嶽駒弓神社は、善光寺とも縁の深い神社で本宮は地附山にあります。



夜9時、参道には上松周辺5区から参加している神楽が仕掛け花火に照らされながら境内につづく坂を上ります。この後、境内では「上松神楽保存会」による善光寺平神楽獅子舞の奉納等が行われますが、8頭もの獅子が境内を舞う姿は壮観で、獅子が見物客の頭をかむ所作になるとたくさんの子供たちが駆け寄ってきます。

神楽奉納が終り、境内各所に仕掛けられた花火が名調子のアナウンスとともに次々と点火されると、普段静かな駒形嶽駒弓神社若宮の境内は、詰め掛けた見物客の歓声でわきかえっていました。



セントラル・スクウェア



セントラル・スクウェアは、1998年長野冬季オリンピックの表彰式会場として使用されたオリンピック記念施設です。

広さ約4,700㎡のこの施設は、善光寺表参道に面した一画にあり、現在は善光寺参拝や市街地散策の人々に便利な駐車スペースとなっていますが、土日・祝日には、イベント会場として使用されることもあります。

表彰式に使用されたステージや表彰台は、現在も残されており、壁面には長野オリンピックを写した大型パネルが展示され、ステージの右前方にはミニ聖火台が設置されています。



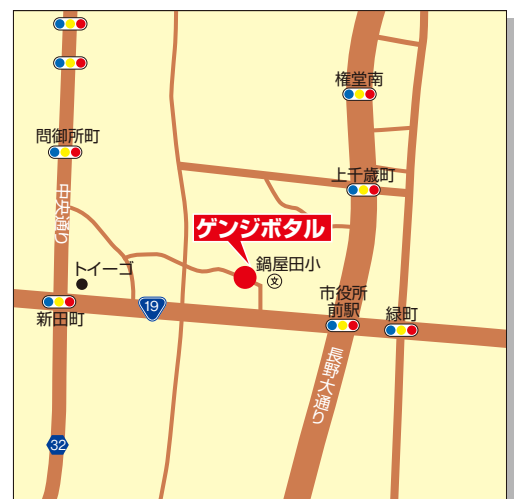
北八幡川の ゲンジボタル

上千歳町にある鍋屋田小学校の正門前を流れる北八幡川で、毎年6月下旬から7月上旬にかけて、たくさんのゲンジボタルが舞い、家族連れなどでホタル観賞を楽しむ光景が見られます。

地元の南千歳町・上千歳町・緑町では、平成15年5月に「町でホタルを楽しむ会」を設立し、ホタルを保護する活動に取り組んでいます。また、鍋屋田小学校の児童による河川清掃・水質調査やホタルの生態観察などの活動も行われており、川べりの看板には「ホタルの住む川あなたが守る 北八幡川を大切に 鍋屋田小学校」と書かれています。

【ゲンジボタル】

体長が約20mmにもなる大型で、世界的にも珍しい水生のホタルです。前胸部の左右がピンク色で、中央に十字架形の黒い模様があります。



さわるなの石



長野市立図書館の入口に保存されている高さ約70cmの三角形の石が、昔から言い伝えのある「さわるなの石」です。この石は、善光寺領と松代領の境界石であり、その脇に標識石が建てられています。

昔から「この石の表面部分は小さいが、その根はとても深く地獄まで続いている、触るとたたりがある」と言われ、誰も手を付けようとはしませんでした。

昭和4年に図書館建設で道路を拡張する際に、ある土工が「昔からの言い伝えは迷信だ」とこの石を移したところ、その夜この土工が発熱し、罰が当たったと大騒ぎになったと言われています。この石の由来、移設の経過を記した標識石はこの時に建てられたものです。



如是姫像

はるか昔の天竺（インド）で、娘の如是姫の病気を阿弥陀如来に救ってもらった月蓋長者^{がつがい}が、深く仏教に帰依し、一光三尊像をつくり信心に勉めました。

この如来像は、長者の死後に仏教伝来とともに日本に渡り

ましたが、伝来を拒む物部氏が像を難波の堀に捨ててしまいました。

ある日、信濃の住人本田善光がこの堀に通るかかると阿弥陀如来に呼び止められ、この一光三尊像を自宅（信濃の国茅井）に持ち帰ったとされ、これが善光寺の始まりと伝えられています。

明治41年に善光寺誕生のきっかけとなった如是姫の像が善光寺境内に造立され、後の昭和11年に末広町地籍長野駅前広場へ移されました。

末広町・ナガノ駅前センターでは、「如是姫まつり」を毎年恒例のお祭りとして実施しています。

